

Contents

- 2 2021年度 予算が決まりました
- 3 2021年度 健保のおもな保健事業
医療制度 時の話題「健康保険法等の改正案が今国会成立へ」
- 4 NTPグループ健保の健康課題は？
～2020年度版健康スコアリングレポートより

page

イズミの

賢者の受診講座

使ってみない？ジェネリック医薬品

医師や薬剤師にこう聞くだけ
ジェネリックに
できますか？

この春、入社した人や
まだ使ったことのない人に
ぜひ知ってほしいな

※すべての新薬に対するジェネリック医薬品があるわけではありません。 ※医師の治療方針によりジェネリック医薬品に替えられない場合があります。

Point
ポイント



ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れた後に製造・販売されます。開発費が抑えられるため、価格が安いのが特徴。ジェネリック医薬品を選択すれば、みなさんが払う薬代を節約できます。

ジェネリックの使用率が上がると、
医療費(保険給付費)が減って
健保組合の財政も助かるのよ！

2ページも見てね！

2021
年度

NTPグループ健康保険組合

予算が決まりました

2021年度予算と事業計画が承認されましたのでお知らせします。

3.1億円の赤字！

不足分を補うために、積立金の
取り崩しを見込んでいます



健康保険予算

雑収入 ほか
0.8億円

経常収入

26.9億円

みなさんと会社から
納めていただく
健康保険料

26.1億円

不足分

経常支出

30.0億円

高齢者等の医療制度への

納付金 **12.6億円**

みなさんの医療費や各種給付金に
使われる

保険給付費 **15.6億円**

健康づくり事業に使われる
保健事業費 **1.7億円**

事務費 ほか **0.1億円**



介護保険予算

介護保険は40歳以上のすべての人が加入します。
収入は「介護保険収入ほか 3.16億円」、支出は
「介護納付金ほか 3.16億円」を見込んでいます。

2021年度から介護保険料率が変わります

2021年度からの
介護保険料率 **1.84%** (事業主 0.92%
被保険者 0.92%)

予算編成の基礎数値

健康保険

被保険者数	5,075人
男	4,082人
女	993人
平均標準報酬月額	381千円
男	408千円
女	260千円
平均年間賞与額	1,019千円

平均年齢	41.10歳
男	42.55歳
女	35.05歳
被扶養者数	4,857人
扶養率	0.95人
保険料率(調整保険料率含む)	9.50%
(うち特定保険料率)	4.536%
事業主	4.95%
被保険者	4.55%

介護保険

被保険者数(本人)	2,723人
被保険者数(本人+家族)	3,844人
平均標準報酬月額	413千円
平均年間賞与額	1,250千円
保険料率	1.84%
事業主	0.92%
被保険者	0.92%

NTPグループ健康保険組合と一緒に、健康づくりに取り組もう!!

次ページへ



健康づくりを
お手伝い!

健保のおもな保健事業

病気の予防・発見にお役立てください!

● 定期健康診断(6月4日~8月20日)

労働安全衛生法に基づく検査、健保追加検査に加え、
受診者オプションとしてがん検診(大腸がん、前立腺がん、
ペプシノーゲン・ピロリ菌抗体検査)を実施
【対 象】被保険者

● 人間ドック(9月~翌年2月)

基本検査および各種オプション検査
【対 象】30歳以上の被保険者、被扶養者
【健保補助】年齢に応じ、11,000円~14,000円

● 巡回健診

・全豊田地域巡回健診(前期:4月~8月、後期:9月~12月、
スマート健診:1月~2月)
・全豊田地域巡回健診(男性コース:7月)
・全国巡回健診(6月~12月)
基本検査および各種オプション検査
【対 象】30歳以上の被扶養者、任意継続被保険者
【自己負担】基本検査料(年齢に応じ、約3,500円~11,000円)
および受診者オプション検査料

● 受診券利用の特定健診 (10月~翌年3月)

【対 象】40歳以上の被扶養者、任意継続被保険者
【検査費用】無料(健保負担)

● 子宮がん検査(10月)

【対 象】20歳以上の被保険者、被扶養者
【自己負担】1,500円

● インフルエンザ予防接種 (10月~翌年1月)

【対 象】被保険者、被扶養者
【健保補助】1名あたり1,000円

新型コロナウイルスの影響により
延期または中止する場合があります。

医療制度①時の話題

健康保険法等の改正案が今国会成立へ

2021年2月に「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案」が国会に提出されました。改正案のおもな事項は次のとおりです。

✓ 後期高齢者医療における窓口負担割合の見直し

【施行予定:2022年10月1日から2023年3月1日までの間において政令で定める日】

現役世代の負担上昇を抑えるため、現役並み所得の人を除く75歳以上の後期高齢者の自己負担割合を、一定所得以上(単身世帯で年収200万円以上等)の人は2割に引き上げる。

『2022年危機』
を知っていますか?

団塊の世代が75歳以上になり始める2022年、現役世代が負担する後期高齢者支援金の急増が見込まれています!

✓ 育児休業中の保険料の免除要件の見直し【施行予定:2022年10月1日】

短期の育児休業の取得に対応して、月内に2週間以上の育児休業を取得した場合には当該月の保険料を免除するとともに、賞与にかかる保険料については、1月を超える育児休業を取得している場合に限り免除の対象とすることとする。



✓ 傷病手当金の支給期間の通算化【施行予定:2022年1月1日】

治療と仕事の両立を支援するため、傷病手当金について、出勤に伴い不支給となった期間がある場合、その分の期間を延長して支給を受けられるよう、支給期間の通算化を行う。

✓ 任意継続被保険者制度の見直し【施行予定:2022年1月1日】

柔軟な制度設計が可能となるよう、任意継続被保険者の保険料の算定基礎の見直しや、被保険者からの申請による資格喪失を可能とする。

NTPグループ健保の健康課題は？

2020年度版健康スコアリングレポートより

下記のグラフは、健康状況や生活習慣がどのような状態かを数値にしたもので、数値が高いほど「良い」、低いほど「悪い」状態であることを示しています。全健保組合の平均（緑色）に対して、NTPグループ健保の数値（赤色）がどの位置にあるかを確認することで、健康課題をみつけましょう。

五角形の中心に近づくほど
“問題アリ”よ！

健康状況



高血圧、脂質異常症のリスクのある人が多い！

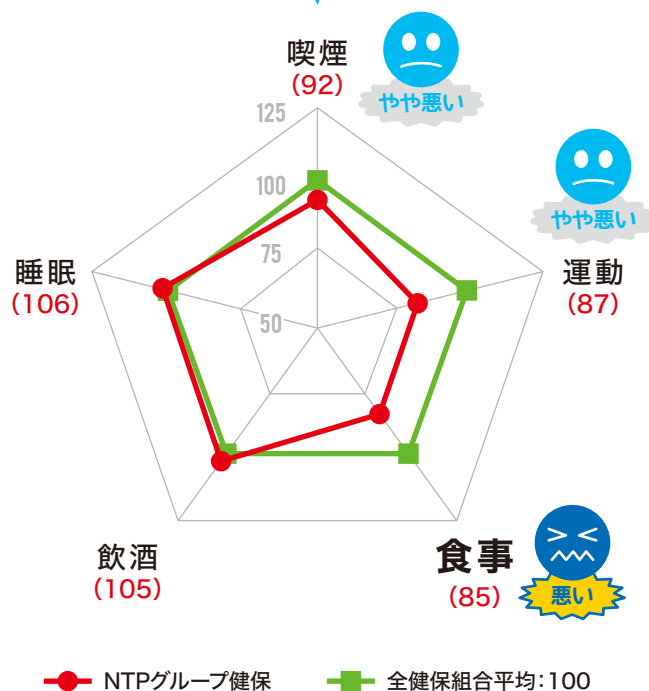
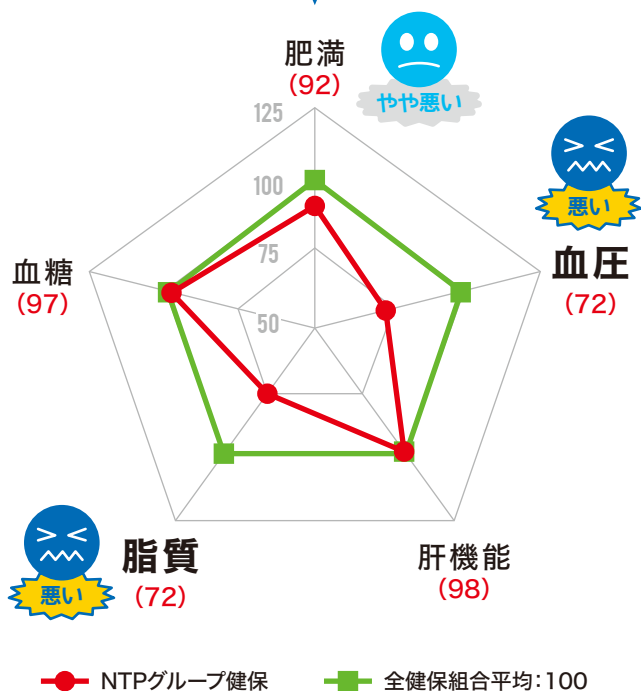
生活習慣



食習慣が乱れている人が多い！

血圧と脂質は平均よりかなり低くなっています。特に「被保険者」「男性」にリスクのある人が多いことがわかりました。

「寝る前の2時間以内に夕食をとることが多い」「早食いをする」という人が、平均よりも多いことがわかりました。



**特定健診で
病気のリスクを
早期発見！**

当健保組合の特定健診実施率(2018年度)は、被保険者の96.6%に対して、被扶養者は35.1%と低い割合です。生活習慣病は自覚症状が現れにくく、健診を受けないことには病気のリスクを発見できません。ご自身のためにもご家族のためにも、年に一度の特定健診は必ず受けてください。



※健康スコアリングレポートとは、各健保組合の加入者の健康状態や健康づくりの取り組み状況を、全健保組合平均などと比較して「見える化」したもので、厚生労働省、経済産業省、日本健康会議が協働して作成し、すべての健保組合に通知されているものです。

※数値は、2018年度の特定健診受診者のデータを集計したものです(生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成)。